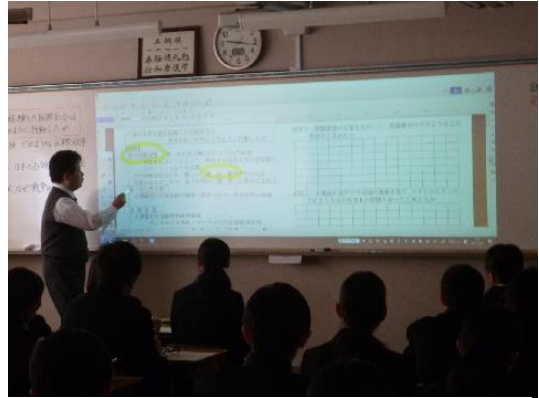


県立学校に導入されたワイドの活用事例について紹介します。ワイドは縦横比16:6のウルトラワイド型プロジェクタです。横2画面分の広さを生かして、効果的に授業で活用することができます。

10月27日の八幡浜高校で行われた学校訪問では、丹下教頭先生が日本史の授業でワイドを活用していました。授業の導入で、資料画像を広い画面に表示して大きく見せ、説明しながら電子ペンで重要事項をチェックしていきました。その後で、生徒たちは与えられた課題についてグループで話し合い、キーワードを書いた付箋をA4用紙に整理しながら貼っていきました。出来上がったものを先生がスキャナでパソコンに取り込み、それをワイドに表示してグループの代表が発表しました。生徒たちは、スマートフォンを扱うような軽い手つきで、電子ペンを使いスクロールしながら発表していました。

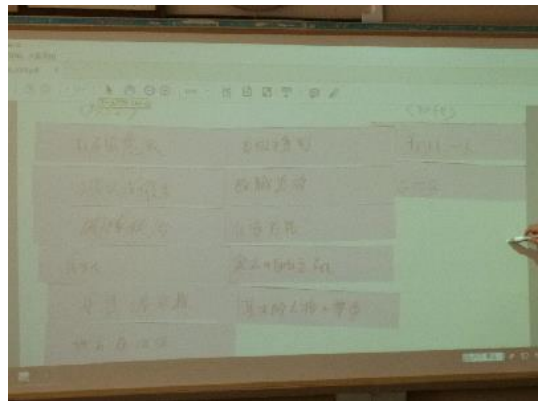
ワイドは、2画面分の広さを1画面で表示して大きく見せたり、2つのパソコン画面を並べて表示したりすることができます。また、昨年度に導入されたEPSONプロジェクタの付属ソフト「PenPlus」を利用すると、丹下教頭先生のように電子ペン機能を使うことができます。ICT機器の活用は難しいという印象があるかもしれませんが、スマートフォンの画像や動画を授業の資料として簡単に見せることができます。画像を提示するだけでも生徒たちに学習内容を印象付けることができます。まずは、試しに使ってみようという気軽な気持ちでチャレンジください。



【重要事項をマークしている様子】



【キーワードを整理する様子】



【生徒が発表している様子】